

藍住町 議会だより

第28号

平成14年2月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156



南幼稚園

定例会 p 2

文教常任委員会 p10

一般質問 p 4

町民の声 p11

総体質問 p10

議会のうごき p12

12月 定例会

12月定例会が12月13日から21日までの9日間の会期で開会された。
平成13年度補正予算及び条例改正など12議案を原案のとおり可決した。
また、議員提案の請願書5件については不採択となった。

町長提案

- 平成12年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について……………原案可決
- 平成13年度藍住町一般会計・特別会計補正予算について……………原案可決
- 藍住町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住町国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について……………原案可決
- 藍住中央保育所改築工事請負契約の変更請負契約の締結について……………原案可決
- 藍住町教育委員会委員の任命について……………矢野幸一

議員提案

- テロの根絶を願い、報復戦争の中止と自衛隊参戦に反対する請願書……………不採択
- 消費税の大増税に反対し、税率を3%に引き下げをを求める請願書……………不採択
- 介護保険の緊急改善を求める請願書……………不採択
- 「医療改革」に関する請願書……………不採択
- 「『狂牛病(牛海綿状脳症)』について、万全な安全対策と畜産農家の経営を守る
対策の強化を求める」意見書の提出に関する請願書……………不採択

石川町長

所信表明

本町の行財政を取り巻く環境は厳しいものがあり、町政の見直しと変革、福祉や教育の充実はもとより、生活環境の整備や産業の活性化を図りつつ、公共事業の見直しなどにより、均衡のとれた財政運営を図っていきたい。

混迷する社会情勢の中、地方自治体においても町税の減収、地方交付税の減額などと合わせ、地方分権や市町村合併の問題など、厳しい環境の中、議会をはじめ職員のご協力をお願いしたい。



西クリンステーション

主 な 補 正

衛生費

西クリンステーション不燃物処理委託料として13,898万円、1号炉及び2号炉の修繕工事費として5,287万円、排ガス高度処理等工事費に9,477万円、フックロール車等の購入費として1,461万円。

対象者の増加による予防接種や検診委託料に約650万円。

教育費

小・中学生の就学援助費として約600万円。給食食器の購入費に310万円。

民生費

児童手当として2,400万円。

土木費

町営住宅修繕費として1,063万円。

陳 情

3件の陳情があり、議場で資料が配付された。

▽児童扶養手当見直しの撤回を求める意見書採択に関する陳情書
陳情者 徳島県生活と健康を守る会連合会
会長 板東光美

▽アトピーなどアレルギー性疾患を学校病に指定することを求める意見書採択に関する陳情書
陳情者 徳島県生活と健康を守る会連合会
会長 板東光美

▽就学援助の充実を求める意見書採択に関する陳情書
陳情者 徳島県生活と健康を守る会連合会
会長 板東光美

陳情者 徳島県生活と健康を守る会連合会
会長 板東光美

◆ 12月補正予算(会計別)の状況 ◆

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	
一般会計	8,959,500	460,500	9,420,000	
特別会計	国民健康保険	104,169	1,894,169	
	老人保健	108,437	2,092,437	
	介護保険	146,007	1,109,525	
	住宅新築資金等貸付	4,337	17,354	
	水道	収益的支出	△169	389,727
		資本的収入	△12,600	30,050

◆ 平成12年度一般会計決算額 ◆

(単位：千円)

会計	歳入	歳出
一般会計	94億5,035万8	90億4,249万2

町政メニューが聞きたい

議員6人が一般質問



森たけし 議員

選挙公約実現の取り組み

多くの町民は、石川町長の7項目の公約に共感し4年間を託した。公約実現に向けてどう取り組むのか。

第3次藍住町総 合計画の見直し

平成17年度までの計画である。町財政を考えれば第4次総合計画策定を視野に

入れ再検討すべきであり、公共下水道事業・ゴミ焼却場建設等の計画とは大きく変化してきている。国は地方交付税削減の動きであり、現計画の見直しを求め

早期見直し

今後の財政の見通しを踏まえて実施計画の再検討を行っていききたい。

同和行政の終結

国は平成13年度で特別対策の終了を決定。これを受けて、県同和懇話会は特別対策終了の答申案をまとめた。県は単独の36事業の見直し、徳島市は特別委員会

で特別対策を終了し、一部は一般対策に移行する。県

見直しをする

これまでの事業成果等を踏まえ、総合的な見地から見直しを行うなど適切に対応していきたい。

公共事業入札制度の改革

藍住町の請負契約は、予定価格に対し落札額は殆ど100%に近い額である。これは指名された業者間で談合が行われているからであり、ここに現町政の歪み

があり指名競争入札の弊害が出ています。NHKの放送では、横須賀市は入札制度の談合防止のため、一般競争入札制度に変更し、現行制度は談合の出来ないインターネットによる電子入札と市の私書箱に送ってもら

改革を図る

町内業者の育成を考慮しながら、入札制度改革を図っていく。

う郵便入札制度を取り入れ成功し、以前は予定価格の

97%が85%くらいとなり、市はそれにより30億円のお金が浮いた。談合の相談をしていた地元の建設業協会

は脱退者が相次いでいるとのことである。藍住町として、談合防止のためにも、横須賀市方式を取り入れるべきである。



喜田敏夫 議員

石川町長は選挙の際に多くの「公約」を掲げて当選された。極めて厳しい環境の中で公約実現に向けて具体的な方策をお伺いしたい。

地方分権・町村合併

小泉内閣の「聖域なき構造改革」を掲げてのスタートはとりもなおさず地方への交付金、補助金のカットは避けて通れないものである。地方分権は「権限の移譲はするが金は出さない」町村合併は何も地方から合併したいと言う事ではなく、国の政治の失敗、見通しの甘さから666兆円もの借金を抱えてしまい地方への交付金、補助金のカットをせざるを得ない状況からの合併論議である。町長はこれをどのように考えているのか。

効率的な事務処理

柔軟な組織体制づくりを努め、国県に対しても財源措置を求めていきたい。町村合併は十分に研究し、議会や住民の意見を踏まえて判断したい。

財政再建

構造不況は藍住町内まで押し寄せている現状の中で税収減は避けて通れないものであり、徹底した歳出の削減なくしては財政再建はなしえないと思うが如何か。

見直していく

藍住町総合計画の中でも検討し、厳しい財政運用の中で見直していく。

ゴミ対策・西環状線・町道整備

ゴミは西クリの設備の老朽化が進み、鳴門市との協議も進まずどうしようもなくなっている。西環状線は渋滞緩和のため必要と思うが高規格道路ではなく一般道路で充分ではないか。それよりも迷路のような町道整備を急ぐべきだ。勝瑞の千間堀線はどうするのか。

道路整備を進める

ゴミ問題は十分研究をし、結論を出していく。西環状線は地域の振興にも大きく寄与するものと期待している。町道については利便性のある道路整備を進めていきたい。

教育・福祉

文部省の進めてきた偏差値教育の弊害が社会全体を悪くしている。福祉についても老人医療保険の破綻による介護保険導入であったが、このままでは共倒れの可能性がある。この状態をどう解決するのか。

人間性・個性を尊重する教育

思いやりの心を大切に

する教育を進めたい。

福祉においては、今までのデイサービスが低下することなく、事業の総点検を行い、町民の意見が反映される福祉事業の展開をしたい。

能率的な行政運営

「経営者の感覚で取り組む」と言っているが、今、民間企業では生き残りをかけてコスト削減に取り組んでいる。役場内で出来るのか。

計画的に実施

各種申請等手続きの電子化などに向けた基盤整備を計画的に実施し、情報の推進を進めていく。

安定した農業経営、商工業の振興

農産物の貿易自由化により、将来に不安を感じ後継者が減少し、専業農家も減少している。これをどう打破するのか。また商工業にしても、産業の空洞化は止まらない現状下で企業倒産が続発する中での振興策とは、いったいどのようなものがあるのか。

関係機関と連携

農業者や関係機関と連携し、施策の推進に取り組んでいきたい。商工業の振興等については、商工会等と連携し検討していきたい。



人参ビニールハウス



西谷 修 議員

インフルエンザの 予防接種について

65才以上の高齢者がインフルエンザの予防接種を希望する場合、費用の一部を公費で負担する改正予防接種法が11月に国会で可決、成立した。今冬の本格的な流行期を前に、藍住町でも12月から実施されている。インフルエンザは、高齢者がかかると肺炎を併発して重症化し、時には死亡することもある油断できない病気である。

今回の改正は、高齢者の発病、特に重症化を防止する観点から、市町村が行っている予防接種の対象にインフルエンザを加え、接種費用の一部を公費で負担することで、高齢者のワクチン接種を積極的に促進することが目的である。

インフルエンザの接種費用は現在、各医療機関によって異なるが、1回当たり3,700円〜4,300円。この接種費用の内、法改正に伴う公費負担額が差し引かれることから、高齢者はこれまでより安い料金で予防接種が受けられるようになる。

さて藍住町では、インフルエンザのワクチン接種方法や費用等についてどのようか。予防接種費用は市町村が負担、市町村によっては一部実費徴収し国が地方交付税で補填することになる。市町村間で2,800円もの開きがあり、接種を奨励するための法改正とは裏腹に、自己負担の高い藍住町(3,300円)では接種を敬遠するお年寄りもある。高齢者医療をどのように考えているのか。

個人予防が目的

町内20箇所の医療機関へ委託し、今回は個別接種により実施した。費用については3,300円。今年度の状況を踏まえて、高齢者のために予防接種が出来るよう十分検討していきたい。

ISO9000取得で行政サービスを改善

「お役所仕事」「住民に対するサービス精神が不足している」「職員によって対応に差がある」などと言われることの多かった行政サービスの在り方を見直し、住民本位のサービスを

提供しようと、国際規格の「ISO9000」シリーズを導入する動きが地方自治体の間で広がり始めている。

同シリーズを導入することによって、個々の行政サービスの手順を明確にするとともに、第三者による定期的な監査などを実施し、行政サービスの質の向上を目指すことが狙い。行政の

透明性確保や、業務効率化によるサービスコスト削減、役所の組織活性化、職員の意識改革などにもつながるものとして、注目を集めている。地方自治体では群馬県太田市と長野県佐久市が99年3月、全国で初めて認証を取得した。

このうち、太田市が認証取得を目指すに当たって掲げたスローガンは、「小さな市役所で大きなサービス」市長は「市役所は市内最大のサービス産業でなければならぬ」との掛け声を受け、質の高い行政サービスの提供と事務の効率化・経費削減を実現するための手段として同シリーズを選んだ。質の高いサービス・市民の苦情・要望に対する処理システムを構築

し、行政サービスに反映、常に市民の視点で業務をとらえることにより行政サービスを改善・効率化することになる。石川町長は改革の中に町職員の意識改革を行い、サービス精神のある効率的な業務を奨励すると言っている。藍住町もISO9000取得で行政改革を進めるよう提言する。

政 住民のための行

ISO9000シリーズ導入については、町民へのサービスと事務の効率化・経費の節減のために担当者や協議をする中で検討していきたい。



窓口業務



永浜茂樹議員

「町長選での選挙公約実現について」

114億円の町 借金返済行程表

町長は自分の発行した会報で「114億円の町借金の返済行程表を作成して毎年確実に返済します」とあるが、国は公共事業10・7%削減を決めており、地方交付税、交付金も極めて厳しいといわれ、様々な財政状況を加味しての平成14年度当初予算が編成計上されることを切望した上で、何年の何月頃借金返済行程表が発表されるのか。

平成14年度から実施

藍住町総合計画を根本的に見直し無駄を省いていく。新年度予算の中で出来るものから反映していきたい。

入札制度の見直しについて

今、国・県・市町村も苦慮している入札制度、一般競争入札、指名競争入札とあるが、本町では従来、町内企業（町内在住の従業員も含む）の育成を図ること、町の活性化と発展を図ってきたと思う。行政では公

平、公正な指名競争入札と認識しているが、なぜ現状のままではいけないのか。

見直していく

町内業者の育成を考慮しながら、新年度より段々と一般競争に近づきたい。

リストラされた中高年 年齢者の雇用の場づくり

今日、不況が一段と厳しいなかで、既に長尾鉄工はじめ東邦レーヨン、大手の中堅ゼネコンでは青木建設、そして大塚化学の大塚家具経営破綻などで、約200人の従業員が平成14年解雇されることとなり、大変な事態と受け止められるが、このような時に町長は企業との連携を密にした雇用対策は出来るのか。

できるだけ再雇用或いはそれぞれの就職の斡旋を十分お願いしている。

少人数学校と複 数担任制の拡充

定数法の第3条では、現在の学級編成は40人と定められているが「市町村が勝手に少人数学校を編成した場合、市町村の責任で実施してもらおう。」と言ったのが国の意向と考えるが、どうか。

調査研究していく

先進地を参考にして調査研究し、一番良い方法で取り組んでいきたい。

迷路の解消と幹線 町道の整備について

資本主義社会の基本原理は所有制と競争制から成り立っており、迷路の解消はじめ町道整備についても町

職員もこれまで随分努力し、未整備、未完成の道路も長年交渉が難航した所と理解しているが、町長は具体的にどのような取り組みを考えているのか。

早期決着を目指す

利便性のある道路整備と、幹線町道拡幅の早期解決を目指したい。

教育施設の中のト イレの抜本的改修

学校現場の意見を尊重し、財政的な問題もクリアしながらできるものから実施していきたい。

新年度から取り組む

町内の各学校はそれぞれ建設された当時は時代に即応した施設であったが、時代の経過と共に老朽化が著しく私も視察したが、各学校とも大変傷んでいた。子供達の切なる願い、先生方、保護者の強い要望でもあるトイレの改修を平成14年度は第一目標に取り組みたい。



車が対向できない町道

関連連絡会議へ
お願い



西岡恵子議員

学校給食

給食食器については補助金があり次第購入との答弁であったが、現在の状況は、食材の安全性について狂牛病問題が世間を騒がせているが、牛肉及び関連製品の給食使用について不安感のある子供や保護者に対しての対応はしているのか。地場の農産物使用についての検討はどのようなか。

給食食器買替

今年度は藍住中学校と南小学校の食器を全部買い替え。残りの学校は来年度中に補助事業申請を行い、全部買い替えていきたい。

ジェンダー教育は必要

幼児期から意識を育てていくためのジェンダー教育を家庭や学校において取り組むことは重要である。女性問題の受け皿については一人で深刻に悩んでいる方が気軽に相談できるような体制づくりや、女性センターで取り組んでいるという広報活動を進めていきたい。

介護保険

県が行ったアンケート調査では8割が満足とあるが、本町ではどうか。介護保険料の減免を実施している自治体、又来年度から見直しを検討する自治体もあるが、本町の収納状況、負担と考えている方への町独自の対応策はどのようなか。

平成14年が事業見直しの時期

サービスは概ね満足さ

れていると思っている。平成12年度の収納率は98・67%。納付困難な方については、分納による納付をお願いしている。

中央保育所改築

「命を預かる器」として最大の安全をお願いしてきたが、現段階での安全確認の調査結果は。これら、町当局の安全対策について評価はするが、全て補正予算で実施し、約1千万円を追加、今後は設計段階より考慮しておくべきと考える。

安全で安心な保育所

室内環境測定の結果は国際安全基準値より低い0・06ppm。現在までに乳幼児からシックハウス症候群等で体に異常が生じたとの事例報告は受けていない。その他の安全対策として、指詰め防止金具等や防犯カメラの設置を行う予定である。

IT活用

タイムリーなホームページの作成をお願いしているが、町長への提言等も受けられるようにしてはどうか。議会だよりも載せて頂きたい。

内容を改善

ホームページの全体的な見直しが必要であり、情報化の計画を作成し、町長へのメールについても検討していきたい。議会だよりの掲載も進めていきたい。

AIZUMI-TOWN OFFICIAL WEBSITE

徳島県 藍住町

花と緑と太陽のまち

阿波藍の里

花いっぱいのまち

歴史が息づくまち

AIZUMI OFFICIAL WEB SITE SINCE 2000.4.1

Home Page Mail

藍住町の紹介
観光ガイド
特産品紹介
イベント情報
広報
町民の広場
リンク

町村合併に対する町長の基本的姿勢について

今私達の身近な問題として、町村合併がある。地方分権の進展や社会経済情勢の変化を背景に各地での広域行政や市町村合併の議論が行われている。市町村合併は避けて通ることの出来ない待ったなしの課題である。こうした状況のもと、町長は現在の市町村合併の情勢をどのように認識し、また今後の取り組みについて基本的姿勢を伺いたい。



古川義夫 議員

住民の判断が重要

合併の必要性について住民のご理解を得る努力をしていきたい。

雇用対策について

深刻な不況の影響を受け、大手百貨店やスーパーの破綻を初め家族主義経営を掲げ一貫して雇用を守り続けてきた大手家電メーカーでさえ数千人の希望退職募集に踏み切らざるを得ない時代になっている。このような厳しい雇用情勢の中リストラされた中高年齢者の雇用の場をどのような施策を持つて雇用の創出を図るのか。町長のご所見をお

伺いたい。また12月に入って大塚化学の家具製造の国内最大拠点とされる本町住吉の工場が8月をもって閉鎖されることが発表された。この度の工場閉鎖により約300人がリストラされ町内でも関連企業、即ち下請け会社約20社が連鎖倒産の可能性があると聞いている。藍住町も行政として責任ある対応をお願いしたい。町長の見解はどのようなか。

影響大

商工会や県へ出向き、情報収集や融資制度等について調査している。

少子化対策について

少子化対策といった大きな問題は国政の問題であって、一自治体の問題ではないという考え方もあります。児童手当の充実や租税負担の軽減などは国政の

問題であるが、仕事と育児の両立を図る対策は一自治体としても取り組むことが出来る分野があるかと考える。町長は少子化対策として子育て支援事業を行うと公約しているが、具体的な施策を示していただきたい。

子育てに優しい町づくり

児童手当の充実、地域子育て支援センターの設置、保育所の充実、学童保育、乳幼児一時預かり事業、乳児医療、保健センターでの検診等子育て支援のための施策の充実を図っていきたい。

迷路の解消と幹線道路の整備について

防災面や利便性を考えると整備は必要と考える。たとえば藍住東中学校南側の道路について、学校までバスが入れない状況で長年の懸案となっている。幹線町

道の整備を図るためには用地取得が必要となるが用地交渉について町長自ら整備の必要性を訴えて地権者と交渉する用意はあるのか。

取り組んでいく

一日も早い解消のために、職員一同一丸となって取り組んでいく。

土地利用指導要綱の検討結果について

設置基準がないごみ収集施設の設置スペースの確保について検討結果を説明していただきたい。

規定の見直し

現在、担当課間においてごみ集積所設置基準の事前協議を行っている。



ごみ集積所のない分譲地

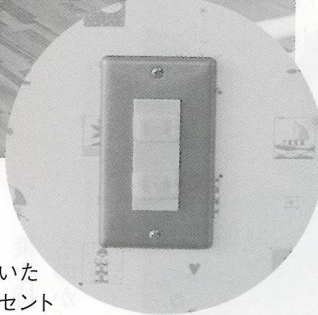
総体質問

西クリーンステーション予算について、不燃物の処理委託料が平成12年度の約3倍になっている。委託料がどんどん引き上げられてくると町財政に非常に

大きな問題が出てくると思われる。委託料が高額な理由ともつと安くてできないか検討された



中央保育所



安全カバーの付いたコンセント

予測されていなかった煙道の修理工事時の処理委託料や、環境美化費で計上していた粗大ゴミ処理費を13年度は西クリーンステーション委託料で計上したため。又分別徹底による廃プラスチック等の不燃物処理費の増加等による。委託料の減少努力については、廃プラスチック等について容器リサイクル法に基づく処理方法や生ゴミ等の減量を計画している。

中央保育所改築工事変更申請契約について、安全面については議会全員協議会等でも万全の対策をお願いし、細心の注意が払われていると思われるが、当初から考えられることを更に上乘せしてやるということは問題ではないか。

当初より安全で安心できる建物として設計、施工を行っているが、更なる安全対策のために防犯カメラ、テラス上部の雨よけ設置、強化ガラスの採用、又保護者の強い要望によるアトピー対策における材料の変更により追加工事となった。

報告

11月8日、文教常任委員会を開催し、藍住南小学校「あいっこ博士発表会」の視察研修を行った。

総合学習の内容は「藍の種まきから育苗。そして高度な藍染の技術」までの過程を6つのセクションに分け発表し、質問や意見交換により知識を深めていくというものだった。「藍」に関することは全て網羅しているという、極めて画期的な授業内容であり、多彩な技術も取得していた。

「あいっこ博士発表会」のような保護者、地域ぐるみの画期的な授業を取り入れている学校があることを知り、このような授業を大いに取り入れ、拡大していき、子供達にとって「学校は楽しい」場所であるという教育こそ真の教育であることを再認識するとともに、教育とは「藍住町のみならず我が国の近未来を担うりっぱな人材育成」にあると考える。

文教常任委員会

国民健康保険運営協議会について

春日 平野誠一

私は過去に藍住町国民健康保険運営協議会、被保険者を代表する委員に就きました。

国保制度の基本的なことは、殆ど法定されています。町独自の施策として実施できることは、限られた範囲にとどまります。しかし国民健康保険が住民を対象とし、市町村単位で実施されることから、それぞれの地域の特性に応じた運用もまた必要です。それで国保の運営に関し、必要な意見の交換や調査、審議、町長への意見具申等を行うために町の必要機関として規定されています。

協議会の第一歩は賦課総額の決定で始まります。その年の医療費の見込み額を決めることです。まず収入額を決めてそれを所得等に按分して賦課するといふ、一般の税にはみられない独特なシステムになっています。実質的なことは全て担当課で議案を作って提案され、協議会は意見を述べたり質疑をするが、原案通り承認することが多かった。協議会の議事内容もほとんどの場合非公開になっていますが、医療費の見積額やそれから派生する保険料の決定のされ方など広報を通じて積極的に加入者にアピールするのが望ましいと思います。最後に国保はいずれ抜本的な改革を余儀なくされます。

町民主体の公正明朗な町政を望む

乙瀬 井上常男

この前の藍住町政は、無駄遣い等があったことから、そのような無駄遣いを廃し、健全財政で赤字町政を解消するよう要望した意見等の私の投稿文を町民の声として、町議会に提出しました。

ところが、忽ち私方へ深夜、無言電話や「いらんこと書くな」等の嫌がらせ電話が相次いだ挙句私の投稿文は掲載されませんでした。なぜ掲載されなかったのか、議会事務局に説明を求めたところ係員は、辻褄の合わない矛盾した説明で納得できないため、町議会に公開質問状で説明を求めた。ところが議会側は、私の投稿文は「他人を中傷し

ている」等と言って返答がありません。

だが、中傷というのはたらのな口実です。辞書には中傷とは「ありもしないことを言つて人の名誉を傷つけること」とあり、刑法の名譽毀損罪です。

私の投稿文には、どこを探しても中傷の事実は全然ありません。中傷の事実もないのに中傷したと言っているのです。公職にある人が中傷の意味が理解できない

いのは困ります。

また議会は、町民から町政等の意見を募集していながら、町政に批判的な意見は掲載されなかった。新しく就任した石川智能

町長は、町政改革を掲げておられる。議会や町職員は新町長の公約に協力し、町民主体の明るい公正な町政の実現に努めて頂きたい。

町議会に期待する

勝瑞 黒田一夫

藍住町は、その地の利が、近年世帯数人口共に順調に増加を続けている。現在県下第5位の町です。平均年齢は37才余の活気あふる若い町として知られている。高速インターもあり、四国三郎橋、北環状線と交通インフラの充実が進んでいる。

しかし、発展の一方で、都市計画の未成立から、行き止まりの道路、農地と宅地の混在と問題点も顕在化している。商業施設の集積も進まず、近隣の大型施設に客を奪われている現状である。

町議会には、諸問題を直視し、新めて住民本位の発想、議論を期待する。地方

投稿規定

- 1 住所・氏名・電話番号を明記
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内
- 4 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

町民の声

編集委員会では、町民の声を投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

議会のびっぴり

11月

12月

- 1日 鳴門市・藍住町環境施設
組合議会議員協議会
- 3日 各種功労者表彰
- 4日 藍ラブフェスティバル
- 6日 板野郡議長会定例会
- 7日 中央福祉地区単位クラブ
会長・女性リーダー研修
会
- 8日 鳴門市・藍住町環境施設
組合議会
- 9日 議会だより編集委員会
河北町民号来庁
- 11日 戦没者追悼式
消防訓練
- 14日 町村議会議長会全国大
会・板野郡町議会議長会
視察研修
- 20日 板野郡町議会議員研修会
- 26日 同和問題の現状を考える
県民集会
- 5日 自治体・議会要請キャラ
バン
- 7日 議会運営委員会
- 8日 藍住町手をつなぐ育成会
クリスマス会
- 13日 12月議会開会
- 18日 12月議会一般質問
- 21日 12月議会閉会
- 25日 板野東部消防組合議会臨
時会
- 26日 板野西部青少年補導セン
ター組合議会
- 26日 農業共済組合議会
- 10日 出初め式
- 13日 成人式
- 17日 鳴門市・藍住町環境施設
組合議会
- 18日 香川県高瀬町議会視察来
庁（議員の兼業禁止）
議会全員協議会
- 19日 故平岡一美氏徳島県議
会葬
- 21日 板野郡議長会広域合併等
研究会視察研修
（香川県白鳥町）
- 23日 商工会新年互礼会
- 25日 町村議会正副議長研修会

1月



成人式

本会議を 傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受けつけていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承下さい。

◆◆ 定例会案内 ◆◆

次の定例会は3月です。

次号は5月に発行します。

● お問い合わせ ●

議会事務局

☎ 637-3127

編集後記

昨年は戦後最悪の失業率、医療保険の改悪・介護保険料の負担増、企業の倒産・閉鎖など町行政への町民の期待が大きくなくなっています。また、県議補欠選挙・町長選挙と続き、新町長が誕生し町民の期待も高まっています。

チェック、アンドバランスとしての議会の役割も重要であります。平等で公正な人権と民主主義が尊ばれる町行政の一翼を担う議会広報づくりをめざします。

議会だより 編集委員会

- 委員長 古川義夫
- 副委員長 森 志郎
- 委員 喜田敏夫
- 委員 森 彪
- 委員 木内敏文